7才児お祝い
12月1日いつせいに

七才児集団祝いがことしも市と連合婦人会の共催で十二月一日、一一会場でおこなわれます。

ことし満七才になつたよい子は一五二〇人（男七六二人、女七五八人）当日は市長、連合婦人会長、市立小学校長先生のお祝いの言葉や千歳アメが贈られます。会場と時間は次の通りです。

吉原地区―宮町天満宮（一一時）、伝法地区―三日市浅間神社（九時三〇分）、今泉第一―今泉小講堂（一〇時）　今泉第二―神戸小講堂（一〇時）　元吉原地区―元吉原小講堂（一〇時）　須津地区―中里町三公会堂（一〇時）　吉永第一―吉永第一小講堂（一一時）　吉永第二―吉永第二小講堂（一〇時）　浮島地区―東小講堂（九時）　原田地区―原田小講堂（九時）　大淵地区―大淵第一小講堂（一一時）

初の農業祭開かる

まちかどにはられた岳南地区農業祭のポスター

第一回岳南地区農業祭が十二月三四の二日間吉原市立体育館で、吉原市、富士市、鷹岡町、管内各農協の共催で開かれます。

この農業祭は、すでにひとつの経済圏を形造つている岳南地区の農畜産物を、消費者みなさんにPRするとともに、生産者相互の技術交換をおこない、生産の増大と品質向上をはかるため、いままでの品評会から脱皮したものにしようと、二市一町の協力で開かれることになつたものです。

三日は品評会の農産物の搬入、審査がおこなわれます。この品評会にはだれでも出品できます。市内で農業を営む人なら出品規格を知りたい方は市農政課、各農協へお問い合わせください。

四日は、消費者サービスのため新鮮な野菜、果物、卵の即売会が農協青年連盟、四Hクラブが中心となり、午前十時から午後四時までおこなわれます。また前日おこなわれた品評会も同時に開かれます。

農業関係者には、農業の近代化をはかるための最新農機具、農業資材の展示会が会場前で開かれます。また農業金融、農地問題、一般農業技術などで悩みごとをもつている方には、富士南部農業普及所、市農政課職員による農業相談所が開かれますからご相談ください。

愛のまごころを
歳末助けあい運動はじまる

世の中のまずしい人や恵まれない人に対して〃たすけあい〃のまごころをわかちあう「歳末たすけあい運動」が、ことしも十二月一日から三十一日まで、全国一斉におこなわれます。

吉原市では、市と社会福祉協議会が中心となり、民生児童委員協議会、連合婦人会などの協力によつて要保護世帯の調査、援護対象者名簿の作成、金品の募集などの運動をおこないます。

集められた金品は社会福祉協議会の資金とあわせて要保護世帯、福祉施設入所者、長期入院療養者など恵まれない人に、明るい正月をむかえることができるよう適正に配分されます。

たすけあいの金品は、十二月一日から十日まで婦人会員によつて集められます。一人でも多くの人が明るい正月をむかえられるよう、市民みなさんのあたたかい援助をお願いします。

請求手続を早く
戦没者妻の特別給付金

戦没者の妻に対する特別給付金の請求は昭和四十一年三月三十一日で時効になります。

特別給付金の請求のできるひとは、昭和十二年七月七日以後に公務上の負傷または疾病により死亡したひとの妻で、昭和三十八年四月一日現在で、次の給付を受けているひとです。

・旧軍人、旧準軍人または旧軍属に係る公務扶助料
・特別扶助料
・遺族年金
・特例遺族年金
・遺族給与金
・旧陸軍、旧海軍の雇傭人に係る各省共済殉職年金
・旧陸軍、旧海軍に配属された雇傭人に係る各省共済殉職年金

まだ請求の手続きをしていないひとは、市福祉事務所社会係へご連絡ください

無料の人権相談所開設 12月10日

吉原人権擁護委員協議会と静岡地方法務局吉原支局では、十二月四日から行なわれる「人権週間」にちなみ、無料人権身の上相談所を次のように開きますので人権問題で悩みごとをおもちの方は気軽にご相談ください。

◇とき　昭和40年12月10日　午前9時から11時まで
◇ところ　市民会館

12月7日 流質物公売

市福祉事務所では、公益質屋の流質物の公売を次のようにおこないます。

▽とき　12月7日　午前9時30分から
▽ところ　市立体育館

交通安全 ぼくらの作品

吉原市交通安全対策協議会は秋の交通安全運動にちなみ、市内小中学生の作文募集を行い、入賞一席を次のように決めました。

まえかわ さとし
元吉原小　一年

ぼくはようちえんのときに、ひかれそうになつたのをひとつはなしてみようか
はじめに、おーとばいがきてすりむいて、そのつぎに、じどうしやのまえであそんでたら、じどうしやがはしつたから、あわててよけました。またじてんしやがはしつてて、ぼくがとんでたら、ぶつかつてぼくはけがをしただけど、じてんしやのひとがすごかつよた。だからもう、みぎひだりをよくみるようになりました。

でも、まだちよつとだめなんだ。このまえの日よう日に、ぬまずにいつて、しんごうが赤なのに、わたりそうになりました。そしたらパパが「まだ赤だから、まだわたつたらだめだよ」つていいました。でもはやくわたりたいなとおもつたけど、ひかれるとこまるからやめました。みんなどうして、こうつうじこにあうんだろうとおもいました。

そうだ、みんなきをつければいいんだとおもいました。けれど、どうしてきをつけないんだろう。へんだな。

、でもぼく、ずーつとおとなになるまで、こうつうじこにあわないようにして、まえより、もつともつときをつけ、こうつうじこにあわないように、みぎひだりをよくみて、いつもみぎがわ、よこぎるときはおうだんほどうで、なんにもないときはてをあげて、わたるようにします。

それから、もつともつとおおきくなつたら、もつともつときをつけるようにして、よくしんごうをみて、うんときをつけます。

滝田 かずあき
吉原小　三年

ぼくの家は、国道一号せんにそつているので、ひつきりなしに車が通ります。時々パトカーがけたたましくサイレンを鳴らして通るので、ああたじこがあつたのだな、とかなしい気ち持になります。

ある本に「もうハンドルはにぎらない」子どもをなくしたもはん運てん手、という記じが出ていました。この人は、タクシーの運てん手ですが、たつた一人のぼうやが家の近くで遊んでいて、トラツクにひかれてしまつたのです。その人は「トラツクの運てん手だけが悪かつたのではなく、子どもがきゆうにとび出したので、じこがおきたのですが、わたしはもう、とても運てん手をつづける気にはなりません」といつていなかへ帰つてしまつたそうです。

これを知つたほかの運てん手さんたちは「わたしたちがいくら気をつけても、子どもはいつどこから、とび出すかわからないからまつたくこわい、子どもたちにも気をつけてもらうように」としごとに出かける前に、交通せいりをはじめました。そして、おたがいの注意がみのつて、じこが少なくなつたという話を読みました。

ちよつとのゆだんから、おそろしい交通じこがおこると、しごとがいやになつたり、かなしいできごとがおきたりして、みんながふしあわせになります。

だから、じこをなくすためには、運てんする人も、ぼくたちも、おたがいが注意しあわなければなりません。ぼくたちが、一番気をつけなければならないことは、バスからおりてすぐとび出さないこと、交通しんごうをよく見て注意しん号の時とび出したりしない、遊ぶのにむ中になつて道ろにとび出したりしないことおうだん歩道をわたる時、左右をよく見てわたることこういうことをみんながまもつていれば、もつともつとじこは少なくなり、みんながたのしくくらせると思います。

滝口 信子
須津小　五年

学校の帰り、友だちの啓子さんと道路を歩いていると、とてもいい人がいた。それは、道をまがる時に、自転車のハンドルを左手でしつかりにぎり、右手をあげたのだつた。私は啓子さんと「あの人は交通のきまりをよくまもるね」「うんきつといい人だねえ」と話をしながら帰つた。

二、三日前、校門の前の道を横切ろうとした時、スーと走つてきた自動車が、ピタツととまつて、まつてくれた。その時もすごくうれしかつた。みんながこんなだつたらすごく気もちがいい。

時々おかあさんと吉原へ行く。吉原には道路に信号がある。赤、黄、青。〃赤〃はとまれ、〃黄〃は注意、〃青〃は歩く。私はこのきまりをしつかりおぼえていて信号を見る。

赤だ。私たちはじつと待つている。自動車がスピードをゆるめて通つていく。黄になつた。自動車はとまる。みんなもまだ歩かない。それなのに男の人がサツサツと行つてしまつた。こんどは青。「やつと青になつたか」といつて、おあかさんと手をつないで通つた。その時、自転車が人と人の間をシューと通りすぎた。みんなが立ちどまつて、びつくりしているのにへつちやらだつた。その人はよくそんなことができるなと思つた。それからバスにのろうとした時、石にぶつかつてころんでしまつたその時はうしろから何もこなかつたから、何でもなかつた、でも、車がきてたらけがをしただろう。私は「ああーあぶない。やつぱり町は交通事故が多いな」とてもこわかつた。

事故は、ほんのわずかの時間に、わけもなく起こる国語の本に「ANATAGA KISOKU O MAMOREBA KISOKU WA ANATA O MAMORU」とある私は、私たちひとり、ひとりがきまりをまもつて、事故のない、こわいことのない生活をしたいと思う。

望月 明美
大淵中　一年

今から一年くらいまえのことである。私たちののつていたバスが駅から五百㍍ほど走つた時、右側の道路からオートバイがフルスピードで走つてきた。オートバイはバスの横腹につつこんだ。バスの乗客はけがをしなかつたが、オートバイに乗つていた人は、足をおつたようで血が出ていた。

私は、オートバイに乗つていた人の方が悪いように思えた。というのはフルスピードで、しかも両側を見ずに走つたからである。オートバイに乗つていた人は急用でどこかえ行く途中であつたかもしれないが、一旦停止すればよかつたのだふつうの人は、町中では一旦停止する。車がたくさんくるからである。しかし、いなかにくるにしたがつてそういうことをおこたる。いくらいなかでも、いつどこで交通事故がおこるかわからない。私も十字路ではなるべくとまつて左右をみることにしている。車がとてもこわいからである。ふつうの人も、いつどこでも一度とまつて左右をよくみてから、道をわたつたらどうだろう。

交通標語は「一旦止まつて右左」という。この標語にならつて、これからも交通安全につとめていきた

議事録

十一月は

◇東海市議会議長会理事会（4日）
四日市市で開催、正副議長局長出席「義務教育施設費の国庫負担率引き上げについて」ほか5議案を可決した。

◇二市一町合併促進協議会「総務委員会」（6日）
鷹岡町で開催「新市の事務所位置について」ほか2件協議

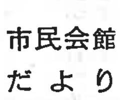
◇二市一町合併促進協議会「建設委員会」（8日）
吉原市で開催「新市の財政状況（投資的経費）の見通しについて」ほか2件について協議

◇二市一町合併促進協議会「行政委員会」（10日）
富士市で開催「条例及び規則の取り扱いについて」ほか3件協議

◇行政視察者来訪（10日）
舞鶴市議会建設委員（四名）による市民会館建設についての視察があつた

◇二市一町合併促進協議会「建設委員会」（16日）
吉原市で開催「各市町の継続事業とその取り扱いについて」ほか1件を協議した。

市民会館だより



◇歳末たすけあい色紙展―12月3、4日。午前9時から午後7時まで。第一集会室

◇沼津労音B例会―12月6、7日。午後6時から9時まで。大ホール

◇文化祭書道発表会―12月7日。午前9時から午後10時まで。第二集会室

◇文化祭洋楽発表会―12月11日。午後4時から9時まで。大ホール

◇わらび座公演―12月15日。午後6時から9時まで。大ホール

◇沼津労音A例会―12月16日。午後6時から9時まで。大ホール

※十二月の休館日は12、29 30、31日です。